（別紙4（2））

目標達成計画

事業所名：グループホーム　はっぴーらいふ
作成日　：　平成22年12月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 36	理念に「その人らしく尊厳ある生活」を謳っており、入居者個々の特徴を捉えた個別の対応を目標にしているが、現時点では理念を実践出来ているとはいえない。	理念を常に意識し、入居者一個人を尊重した個別の対応を心がけ、利用者本位の生活を送れるようにする。	①理念を毎朝、申し送り時に唱和する。 ②施設内で認知症についての勉強会を定期的に行う ③毎月のケア会議で利用者個々の支援方法について振り返り、確認を行い、統一した支援を徹底する。 ④他施設への実習や外部研修を取り入れ、知識や技術の向上を図る。	12ヶ月
2	35	年2回の消防訓練を行っているが、地域の消防団や近隣者との連携が取れておらず、また火災以外の訓練や備蓄の準備が出来ていない。	近隣や消防団の方々との交流を深め、災害時に相互協力体制が取れるようにする。	①日中は地域のために協力し、夜間、有事の際は見守り支援も含め、協力して頂けるような関係作りを行っていく。 ②夜間、地震等のあらゆる災害を想定した避難訓練を行い、消防団や近隣の方々の参加をお願いする。 ③災害に備え備蓄の準備を行っていく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の参加者が少なく、会議での意見がホーム運営やサービスに反映されていない。	家族や地域の様々な方に運営推進会議に参加していただき、意見や提案をホーム運営やサービスの向上につなげていく。	①地域の様々な方に運営推進会議のメンバーになって頂くよう働きかける。 ②会議の中で参加者から頂いた意見や提案に対して早急に対応する。	12ヶ月
4	2	民家の中にホームがあり近隣の散歩を行ったりしているが、入居者と近隣住民の方々との交流が少ない。	地域の方々との交流促進を行い、なじみの関係作りを行う。	①地域の方々に参加していただけるような行事を企画、実施する。 ②地域の方にボランティアに来て頂くようお願いする。 ③職員、入居者も含めて町内行事に積極的に参加する。	12ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。